

令和2年度

水口東高等学校 学校評価

本年度の重点目標

- ・真理を愛し、正義を重んじ、自主的精神に富む心身とともに健康で個性豊かな人間の育成をはかる。
- ・地域社会との連携を密にし、特色ある教育活動を行う中高一貫教育校として、健全で秩序ある校風を育む。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	学校生活についての情報を生徒・保護者や地域に積極的に提供している。	A	B	B
	職員の一致協力体制が確立している。	A	A	A
2 学習指導	授業時間を最大限確保し、計画的な授業を実践している。	A	A	A
	基礎学力の向上と、積極的・自発的学習態度の育成をおこなっている。	A	A	B
	高大連携授業、国際交流、総合的な学習の時間(探究活動)などの特色ある取り組みをおこなっている。	B	B	B
	思考力・判断力・表現力を高める授業実践をおこなっている。	A	A	A
3 生徒指導	教職員の共通理解と、生徒の自覚の上に立った生徒指導が実践できている。	A	B	A
	いじめの防止、早期発見・早期対応ができています。	A	A	B
4 進路指導	よりよい進路実現を目指し、生徒の興味関心や学力を高めている。	A	B	B
	生徒の希望・能力・適性に応じた進路指導を行っている。	A	A	B
	進路実現に向けて、生徒との面談を重視し、生徒の意欲を高めている。	B	B	B
5 特別活動等	学園祭などの生徒会活動や修学旅行などの学校行事を通して良き集団づくりができています。	A	A	A
	生徒会活動や部活動などが活発であり、生徒が自主的に活動している。	A	A	A
6 学校図書館	図書館が生徒にとって親しみやすい場となっている。	A	A	B
	授業等で図書館を活用し、読書意欲の向上や探究的な活動を支援している。	B	B	C
7 保健・安全指導	生徒自身の健康に対する自己管理能力を向上させ、心身ともに健康な生徒が育っている。	A	A	A
	交通指導に努め、生徒の交通マナーの向上を図るなど安全指導を徹底している。	A	A	A
	職員間の連携やカウンセラーとの連携で、不安を感じている生徒の早期発見・早期指導ができています。	A	A	A
8 人権教育	部落問題学習を核とした体験的な人権学習をおこなっている。	A	B	B
	学校生活の様々な場面において、生徒の自己肯定感の育成を目指した指導をおこなっている。	A	A	A
9 環境教育	整理整頓や掃除を行き届かせ、校内美化を推進している。	A	A	B
	日常の活動を通して、省エネなどの環境意識を高めている。	B	B	B
10 事務・管理	施設・設備の定期的な点検を行い、安全管理をおこなっている。	A	A	A
	生徒の個人情報などの校内の情報を適切に管理している。	A	A	B
11 その他 学校の取組み	家庭・地域社会と連携し、開かれた学校づくりができています。	A	B	B

- (注) ・評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
 10月 中間評価(自己評価)の公表(8月までの教育活動に対する中間評価) A B C Dの4段階評価で示す。
 3月 総合評価(自己評価・学校関係者評価)の公表(年間の教育活動に対する総合評価) A B C Dの4段階で示す。
 ・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
 ・A B C Dの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合(達成度80%以上)はA、おおむね達成できた場合(達成度60%以上80%まで)はB、あまり達成できていない場合(達成度40%以上60%まで)はC、達成できていない場合(達成度40%未満)はDとする。

学校のURL : <http://www.e-minakuchi-h.shiga-ec.ed.jp/>